

**TOTO**

# シングルレバー混合栓(清水器用)施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。取付後は、お客様にご使用方法を十分ご説明ください。

## 安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

・この説明書では機能を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

### △ 注意

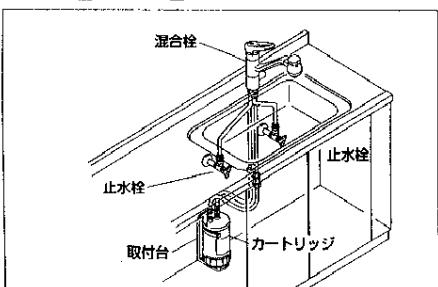
この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的傷害が発生する可能性があることを示しています。

### △ 注意

(1) 湿水を逆に配管しないでください。水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

## 完成図

TKF38UB型+TK300B型



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

6.湯・水の接続を逆にすると、カートリッジに温水が流れ破損の原因になりますので絶対に湯・水を逆配管しないでください。

給水パイプには①ラベルを、給湯パイプには②ラベルを張付けています。なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

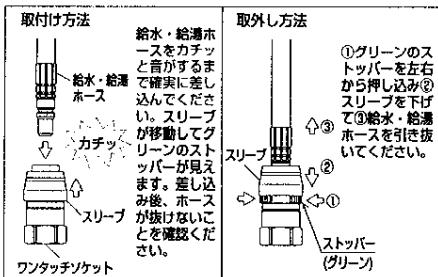
7.水勢調節や保守点検時のために止水栓（別途手配）を必ず取付けてください。

## 取付け前に

より簡単に施工していただくために本製品はワンタッチソケット（逆止弁付）を採用しています。

### 1.ワンタッチ逆止弁

混合栓の給水・給湯ホースとソケットの脱着がワンタッチで可能です。



## 器具の取付け

### 1.給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

\*洗い出しが不十分な場合、清水器のカートリッジが早く目詰りすることがあります。

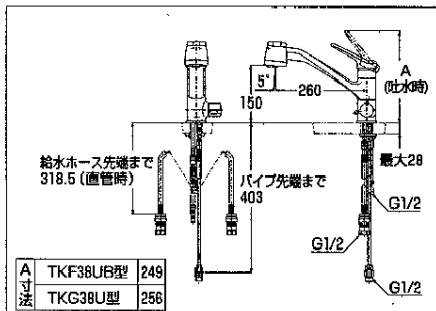
### 2.混合栓本体の取付け

(1)混合栓本体が正面を向くようにし、本体固定軸兼通水管に取付金具、スペーサの順に通して本体固定用ナットで仮固定してください。

03173

## 寸法図

TKF38UB型 TKG38U型



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

## 使用条件

1.本製品はTOTO清水器クリンスイU（品番：TK300B型）に組合せる専用の混合栓です。

2.凍結のおそれのある場所には設置しないでください。（清水器は、寒冷地用ではありません）

3.混合栓の使用圧力は0.07~0.75MPaです。

### 4.使用水圧

(1)瞬間型給湯機と組合せる場合

給水圧力 {  
最低必要水圧…(表参照)  
最高圧力…0.75MPa}

### 〈設定条件〉

- ・レバーハンドルは全開
- ・吐水温度：38℃
- ・給湯配管長さ：5m
- ・給湯機が着火する下限の圧力とする。

・吐水は整流吐水

・水温の高い（25℃）夏期に着火させることを想定。

・能力手動切替タイプの出湯温度は最高温度に設定。

・比例制御タイプの出湯温度：60℃

器具入口部における最低必要水圧 (MPa)

給湯機タイプと号数	最低必要水圧
能力手動切替タイプ 12号	A+0.44
TOTO 10号	0.09
カスタム 16号	
制御方式 20号	0.1
TOTO 16号	
トリコン 20号	0.07
制御方式 24号	
（トリコン ・コンタクト ・アクティ ・スーパー アクティ） 32号	0.06
TOTO ハイトリコン 21号	0.07
制御方式 24号	
TOTO 16号	0.09
コマンド 24号	0.07
TOTO 21号	
ハイコマンド 24号	0.06

注) 表中のAは給湯機の最低作動水圧を示します。

（比例制御タイプにはこの数値が含まれています。）

※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。

### （2）貯湯式給湯機と組合せる場合

給水・給湯圧力 {  
最低必要水圧…0.05MPa

最高圧力…0.75MPa

（3）給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

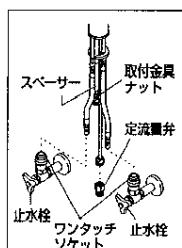
5.給湯に蒸気を使用しないでください。

### （2）ワンタッチソケットを止水栓

に本固定し、給水・給湯ホースをワンタッチソケットに力

チッピ首がするまで確実に差し込んでください。

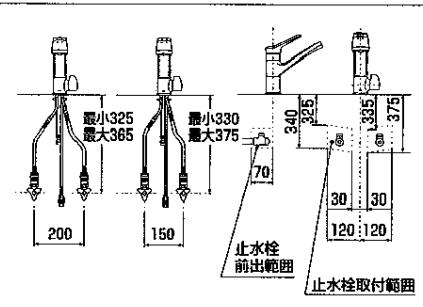
差し込み後、給水・給湯ホー



### 4.給水・給湯ホースの施工について

このホースの施工については、図に示す条件又は範囲内の止水栓位置にて、施工が可能です。

#### （1）ストレート型止水栓の場合



### 3.給水・給湯ホースの施工上の注意点

（1）ホースの折れに、ご注意ください。

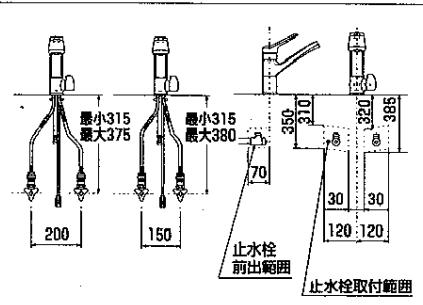
ホースを最小曲げ半径（60mm）より小さく曲げて使用し

ますと、ホースが折れることができます。施工時には、最小曲げ半径（60mm）よりも小さく曲げないように、ご注意ください。

（2）金具本体端面から極端に屈曲して、施工しないでください。

外部補強層の磨耗による外傷でホース性能の劣化の可

#### （2）アングル型止水栓の場合

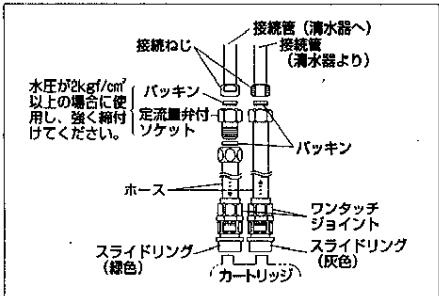


## 5.配管接続

2本のホースをそれぞれ混合栓の接続ねじにねじ込んでください。

\*水圧が0.2MPa以上の場合は定流量弁付ソケットを使用します。

\*混合栓接続部ラベルとホースの向きを同方向になるよう確認して、正しく接続してください。



## 6.清水器の取付け

### (1)清水器取付場所の選定

・混合栓の下部(流し台下)で、既設の配管にぶつからない場所。

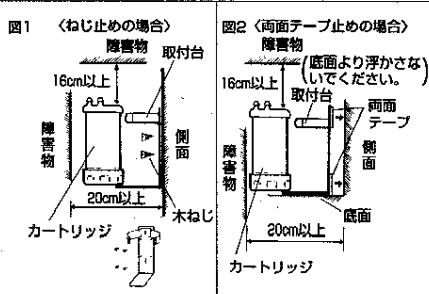
・混合栓から付属のホースで、接続可能な場所。

・ねじや両面テープで、取付台およびカートリッジ本体を十分に支えられる場所。

### (2)取付台の取付け方

・流し台のキャビネット部が木製の場合は、付属の木ねじ(4本)で固定してください。(木部が薄い場合には心材のあるところに固定してください。図1)

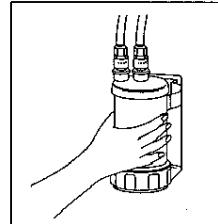
・ステンレス、ホーロー流し台など、ねじ止めが不可能な場合は両面テープ止めをします。接着面の油分、水分、ほこりをよく除去し、取付台を流し台の底面にあわせ、側面に強くおさえて固定してください。(図2)



(5)取付台にカートリッジを固定する際は、ホースが折れ曲がったり、ねじれたりしないようにしてください。

\*ホースがじゅまになる場合には結束バンドで固定してください。ただし、バンドを締めすぎると、吐水量が少なくなりますので注意してください。

\*ホースが結露パイプに触れないようにしてください。(熱で破損する原因になります)

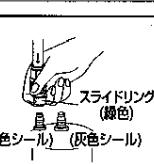


## レバーハンドルの取付要領

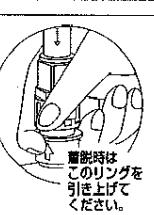
7.カートリッジの取付け  
(1)カートリッジのプラグ先端の保護キャップをはずします。



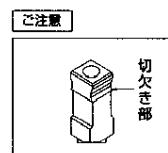
(2)カートリッジのシールとスライドリングとの色を確実に合わせて接続してください。  
※スライドリングを上に引き上げたままワンタッチ・ジョイントを直角に、プラグに合わせてしっかりと押込みます。いちばん奥まで差込まれているか確認してください。



(3)止水栓を開け、レバーハンドルを清水に切替えてカートリッジに通水し、接続部から漏水がないことを確認してください。  
(4)通水させながらカートリッジを持ち上げ逆さまにして十分カートリッジ内の空気を抜いてください。空気があると水切れがわるくなることがあります。



このレバーハンドルは、ワンタッチで取付することができます。



レバーハンドルとレバーの切れさとの方向性に注意してください。

正面から見てレバーの切れさは、両サイドにあります。  
一方をまちがえて取付けた時は、ハンドルを一度引抜いて方向を合わせて再度押込んでください。

最後に、レバーハンドルが容易に抜けないことを点検してください。

## 使用上の注意

この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しております。

レバーハンドルを速く操作しようとすると、抵抗感が発生し重く感じることがありますが故障ではありません。

レバーハンドルがロックして、水が止まらなくなった場合は、一度全開にして、再度ゆっくり閉めてください。

## お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1.ふだんは柔らかい布でふき、ときどきミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でぬいでください。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意してください。

2.クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないでください。

3.酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。

## 分解と点検

現 像	点 檢 項 目
吐水量が少ない。 (清水の吐水量が少ない。)	1. 2 (1. 9. 11. 14)
水(清水)が止まらない。 ハンドル部から水が漏れる。	3. 4. 5. 6. 8
接続部から漏水する。	10. 12
清水の水ざれが悪い。	13. 14.
吐水温度不良。	1. 2
ハンドルがガタつく。	7

取付後、万一故障した場合の分解と点検は、次の要領で行ってください。

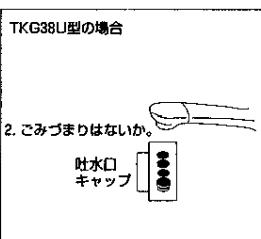
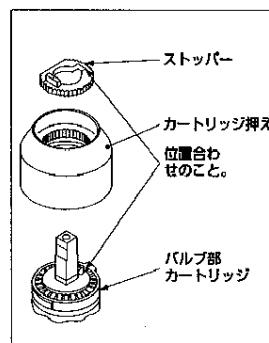
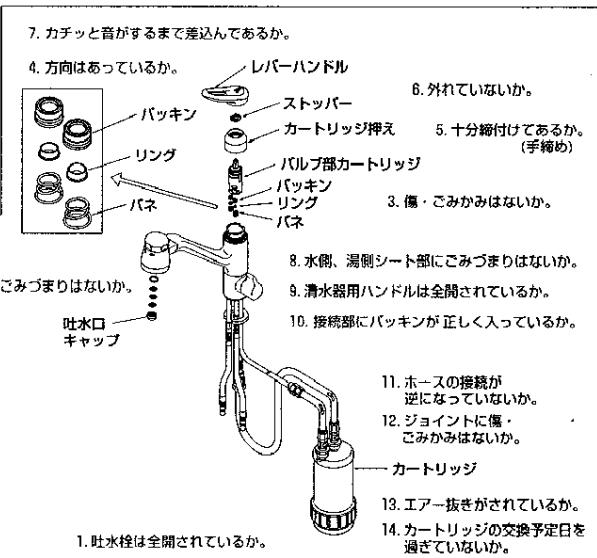
### ご注意

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラシックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。また、清水器のカートリッジも雑菌等が入らないよう、密閉組立しておりますので、絶対に分解しないでください。

### 点検時の注意

カートリッジ押さえは、手縫いで締め付け、工具は使用しないでください。

再セットされる際に、ストッパーを組込む時は、カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押込んでください。  
その際カートリッジ押さえの内側の歯とストッパーの外側の歯が合わない時は、カートリッジ押さえを締め込む方向にて歯を合わせるように調整してください。



\*品番によっては、図と現品の形状が異なります。

再生紙を使用しています。

\*同梱の取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

手渡しきれない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。